

2014年12月15日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

全国小企業月次動向調査(2014年11月実績、12月見通し)

[概況] 小企業の売上DIは、製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大
～12月はマイナス幅が縮小する見通し～

1 売上

2014年11月の売上DIは、10月(▲10.7)から8.1ポイントマイナス幅が拡大し、▲18.8となった。12月は、▲13.5とマイナス幅が縮小する見通しとなっている。

業種別にみると、製造業(▲8.6→▲10.2)、非製造業(▲11.1→▲19.7)ともにマイナス幅が拡大している。

2 採算

2014年11月の採算DIは、10月(▲6.7)からマイナス幅が3.9ポイント拡大し、▲10.6となった。12月は、0.3とプラスに転じる見通しとなっている。

3 業況判断(2014年実績・見込み、2015年見通し)

2014年の業況判断DIは、▲18.6となった。2015年は、2014年からマイナス幅が5.2ポイント縮小し、▲13.4となる見通しである。

＜調査の要領＞	調査時点	2014年12月1日～3日
	調査対象	当公庫取引先 1,500企業(調査対象の企業規模は裏面のとおりに)
	有効回答企業数	1,076企業
	回答率	71.7%

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:桑本、清野)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

調査対象の企業規模

製 造 業（従業者 20 人未満）

卸 売 業（ 同 10 人未満）

小 売 業（ 同 10 人未満）

飲 食 店（ 同 10 人未満）

サービス業（ 同 20 人未満）

建 設 業（ 同 20 人未満）

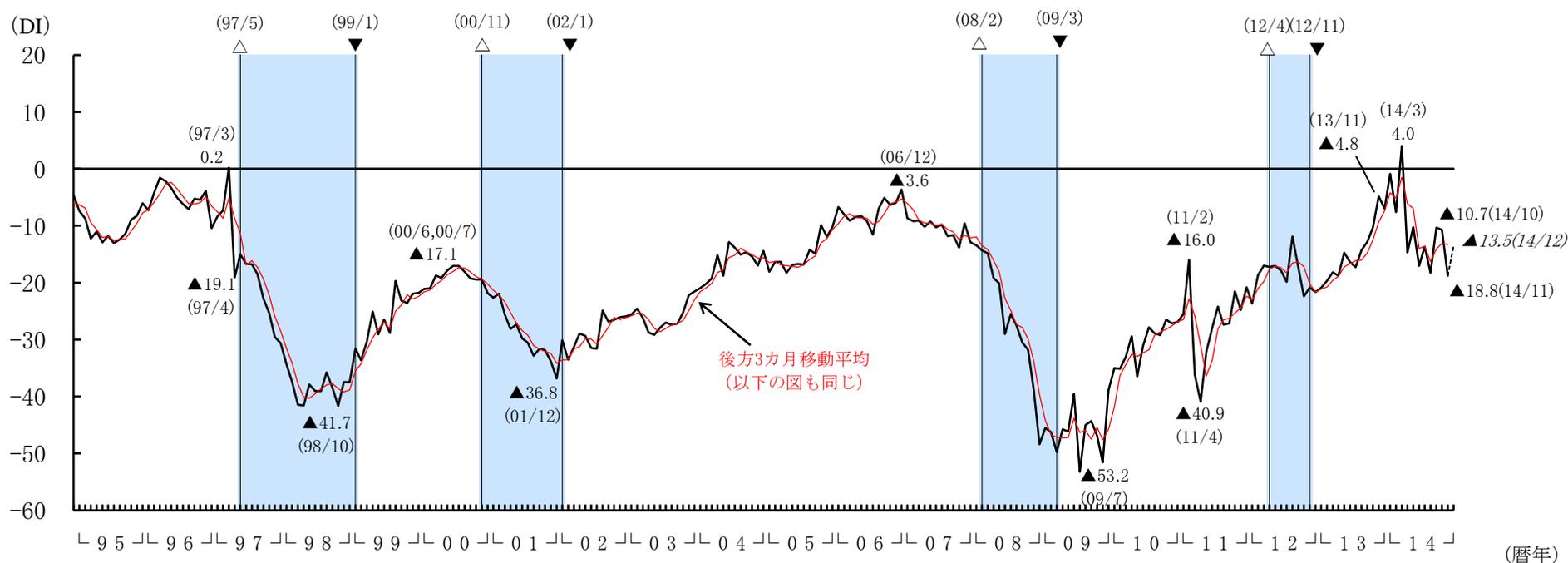
運 輸 業（ 同 20 人未満）

1 売上

- 11月の売上DIは、10月から8.1ポイントマイナス幅が拡大し、▲18.8となった。12月は、▲13.5とマイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- 業種別にみると、製造業(▲8.6→▲10.2)、非製造業(▲11.1→▲19.7)ともにマイナス幅が拡大している。12月は、製造業では▲8.3、非製造業では▲14.6と、ともにマイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- 非製造業では、飲食店を除く全ての業種でマイナス幅が拡大している。12月は、それらの業種でマイナス幅が縮小する見通しとなっている。

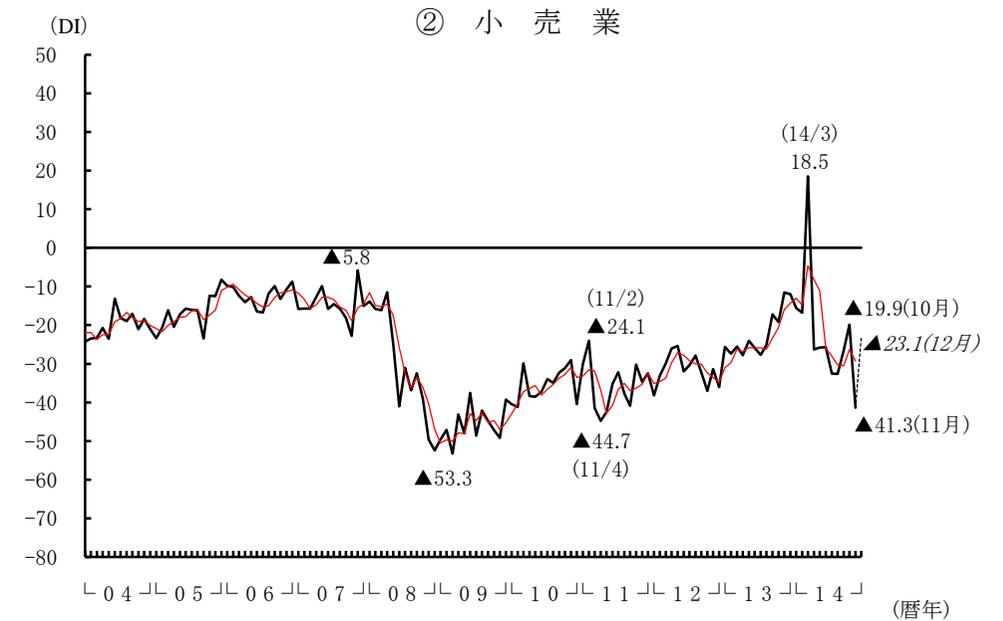
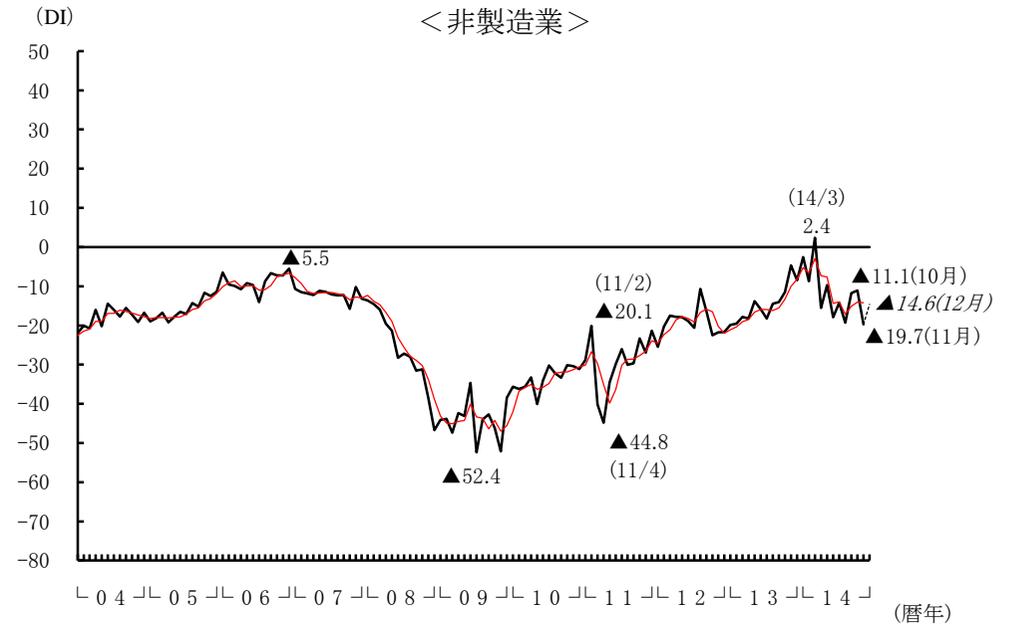
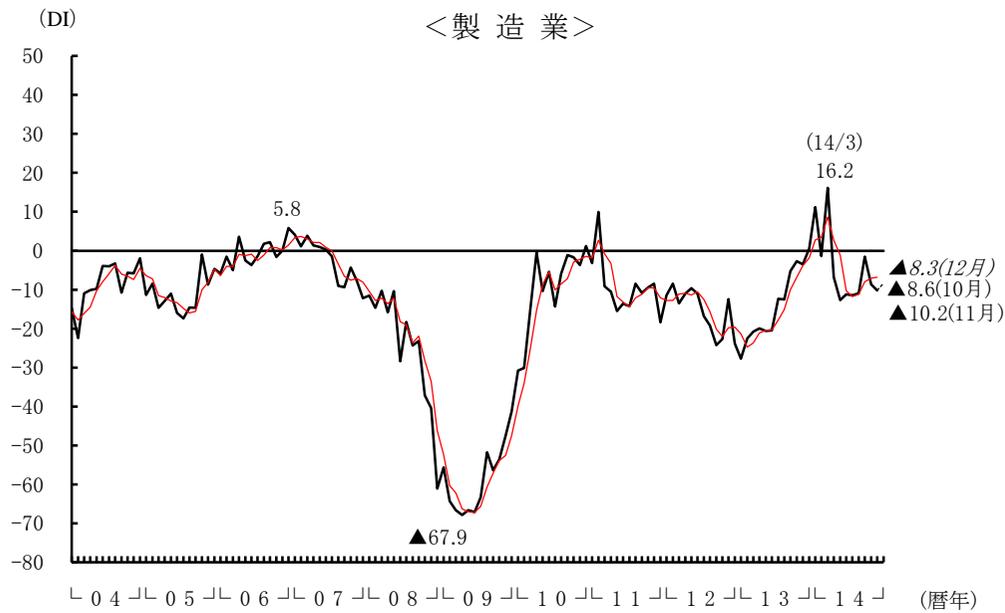
図-1 売上DIの推移（全業種計、季節調整値）

	2013/11月	12月	2014/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実績	▲ 4.8	▲ 7.0	▲ 0.9	▲ 7.6	4.0	▲ 14.7	▲ 10.2	▲ 17.0	▲ 13.7	▲ 18.3	▲ 10.3	▲ 10.7	▲ 18.8	-
見通し	▲ 3.9	▲ 2.5	▲ 4.1	0.9	▲ 1.6	▲ 26.4	▲ 15.6	▲ 5.9	▲ 15.0	▲ 13.2	▲ 7.1	▲ 14.8	▲ 9.8	▲ 13.5



(注) 1 DIは前年同月比で「増加」企業割合－「減少」企業割合。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示す。△は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す（以下同じ）。

図-2 業種別売上DIの推移（季節調整値）



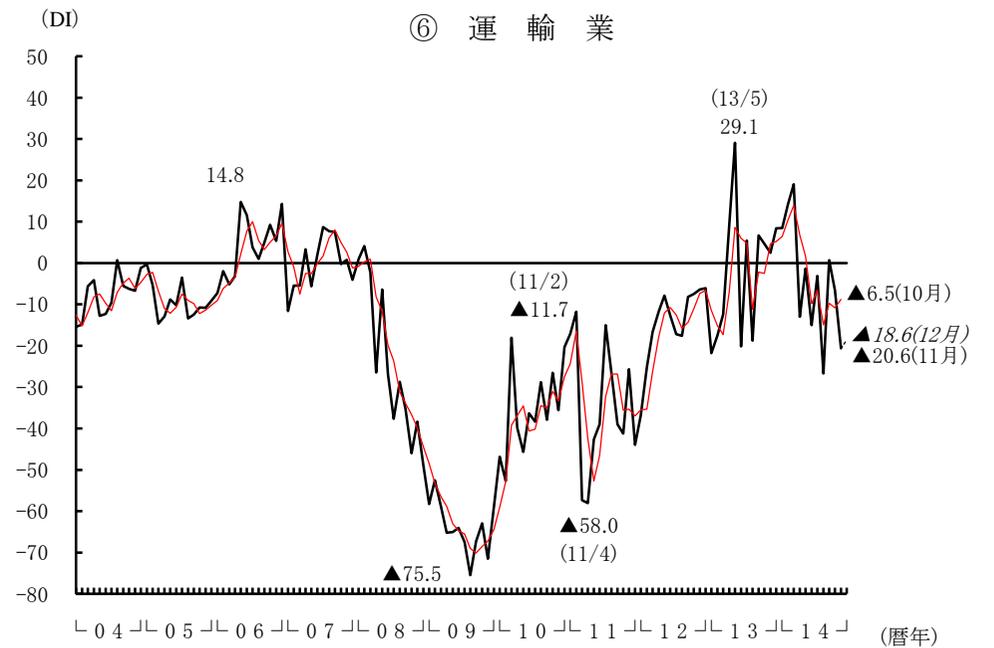
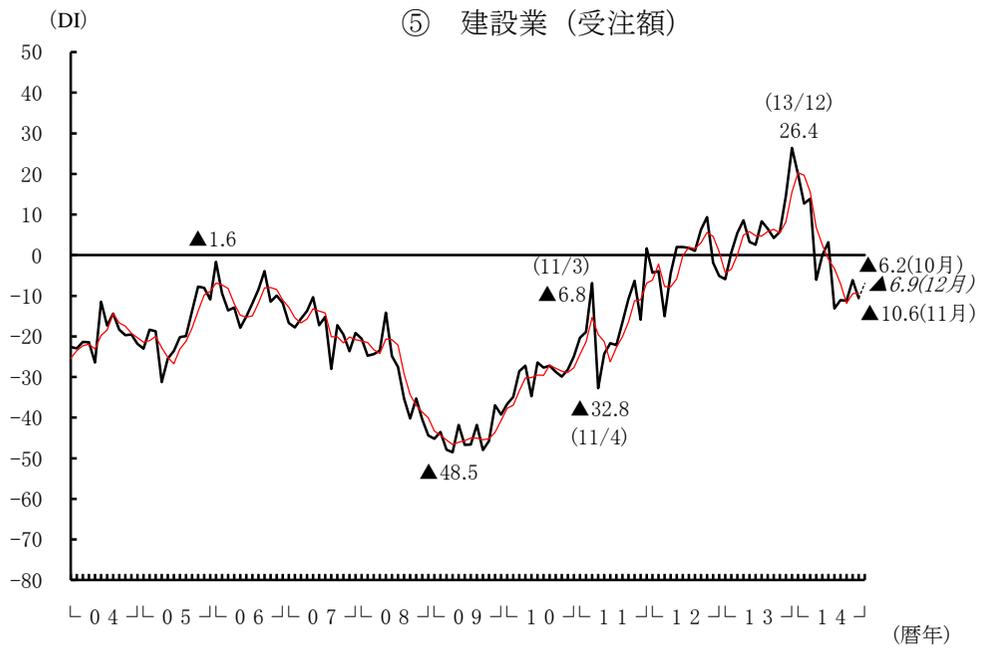
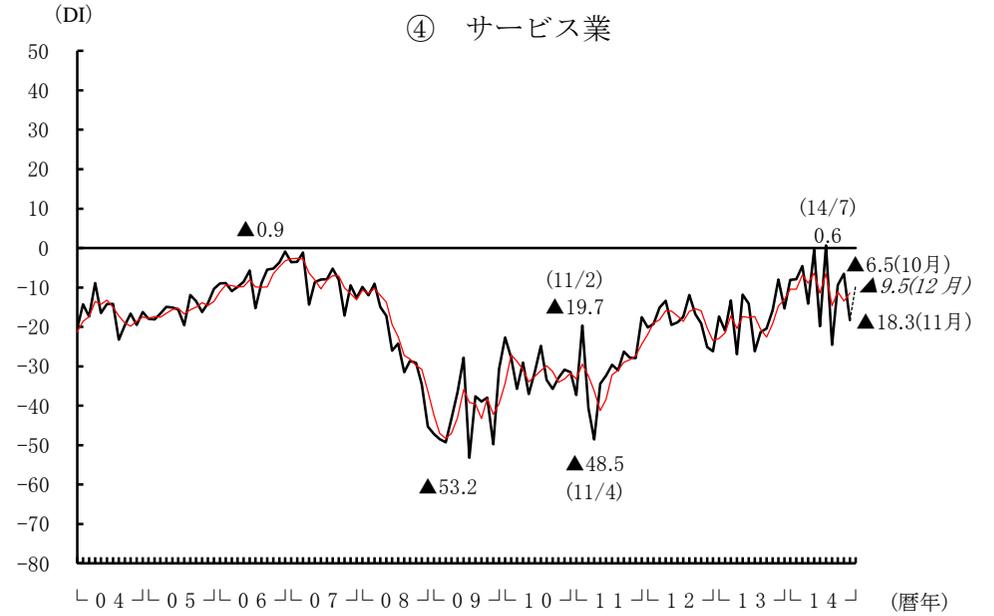
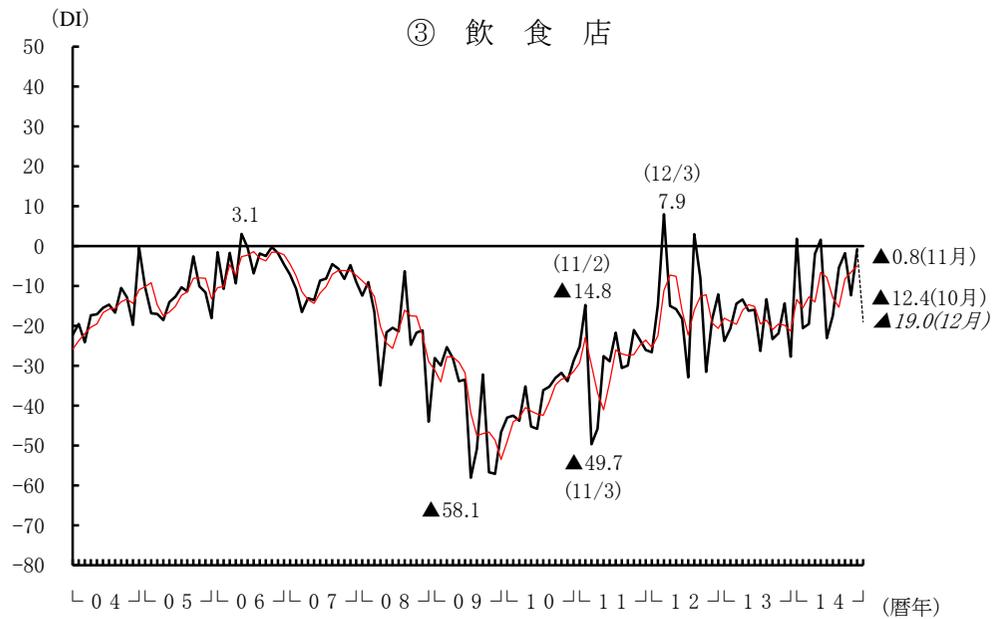


表 業種別売上DIの推移（季節調整値）

（見通し）

	2013年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2014年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
製造業	▲12.3	▲12.5	▲5.3	▲2.7	▲3.5	0.6	11.2	▲1.4	16.2	▲6.8	▲12.7	▲11.2	▲11.4	▲10.9	▲1.5	▲8.6	▲10.2	▲8.3	製造業
金属・機械	▲12.0	▲8.5	5.2	11.6	▲5.1	17.6	30.5	15.6	24.7	11.3	▲5.9	4.8	4.4	▲10.2	11.7	3.0	▲7.3	▲10.5	金属・機械
その他製造	▲9.2	▲14.7	▲13.5	▲13.1	▲11.6	▲8.7	▲7.2	▲14.2	7.8	▲21.4	▲19.9	▲23.3	▲21.4	▲10.4	▲11.7	▲16.8	▲22.3	▲8.7	その他製造
非製造業	▲18.2	▲14.4	▲14.0	▲11.5	▲4.7	▲8.4	▲2.6	▲8.7	2.4	▲15.5	▲9.7	▲17.9	▲14.2	▲19.3	▲11.7	▲11.1	▲19.7	▲14.6	非製造業
①卸売業	▲7.9	▲6.5	4.5	18.2	13.0	11.7	13.0	10.5	44.2	▲14.5	▲25.1	▲14.1	▲18.9	▲17.8	1.3	▲10.1	▲19.6	▲16.2	①卸売業
繊維・衣・食	▲20.6	▲16.1	▲19.9	▲8.2	▲13.1	▲2.8	6.0	7.9	24.8	▲27.1	▲25.9	▲5.7	▲28.9	▲22.0	4.2	▲21.5	▲37.1	▲22.1	繊維・衣・食
機械・建材	1.9	4.7	21.5	31.1	31.6	23.5	17.9	16.8	53.8	▲19.9	▲22.8	▲19.8	▲10.8	▲9.9	1.0	▲6.9	▲6.7	▲12.2	機械・建材
②小売業	▲27.7	▲25.1	▲17.2	▲19.2	▲11.6	▲12.0	▲15.6	▲16.8	18.5	▲26.2	▲25.8	▲25.7	▲32.5	▲32.6	▲26.5	▲19.9	▲41.3	▲23.1	②小売業
耐久消費財	▲7.0	▲3.4	▲6.1	0.9	6.7	4.3	▲11.6	12.5	49.4	▲45.8	▲37.3	▲35.5	▲17.1	▲30.9	▲21.8	▲26.8	▲48.8	▲33.0	耐久消費財
非耐久消費財	▲31.4	▲30.0	▲19.4	▲21.4	▲15.6	▲14.9	▲18.2	▲23.6	10.3	▲22.7	▲23.2	▲24.2	▲35.0	▲32.8	▲27.2	▲15.9	▲39.4	▲21.0	非耐久消費財
③飲食店	▲26.3	▲13.3	▲23.3	▲21.9	▲14.4	▲27.7	1.9	▲20.6	▲19.5	▲2.0	1.6	▲23.1	▲17.4	▲5.4	▲1.7	▲12.4	▲0.8	▲19.0	③飲食店
④サービス業	▲26.2	▲21.3	▲20.4	▲15.8	▲8.0	▲15.3	▲8.1	▲7.9	▲4.5	▲14.1	▲0.4	▲19.8	0.6	▲24.6	▲9.4	▲6.5	▲18.3	▲9.5	④サービス業
事業所向け	4.6	▲11.9	▲7.1	0.1	5.1	6.4	7.3	1.5	6.0	▲10.3	▲1.4	▲0.6	▲23.7	▲8.0	0.8	2.8	▲9.3	▲13.5	事業所向け
個人向け	▲38.7	▲24.1	▲24.6	▲20.8	▲13.8	▲22.6	▲13.5	▲12.1	▲8.5	▲12.0	3.3	▲25.9	5.9	▲29.7	▲12.5	▲9.4	▲22.9	▲7.6	個人向け
⑤建設業	8.4	6.5	4.3	5.7	14.6	26.4	19.9	12.7	13.9	▲6.1	0.0	3.2	▲13.1	▲11.1	▲11.2	▲6.2	▲10.6	▲6.9	⑤建設業
⑥運輸業	5.5	▲18.8	6.7	4.6	2.5	8.4	8.5	14.3	19.1	▲13.0	▲1.3	▲15.0	▲3.2	▲26.7	0.7	▲6.5	▲20.6	▲18.6	⑥運輸業
道路貨物	11.5	▲22.1	12.1	5.6	3.2	9.6	11.6	16.2	31.4	▲12.3	▲4.4	▲20.0	▲2.9	▲30.3	▲1.2	▲6.8	▲13.3	▲13.0	道路貨物
個人タクシー	▲6.8	▲15.5	▲13.2	▲0.2	5.9	8.9	1.7	▲14.4	▲9.9	▲11.9	0.3	2.0	5.4	▲22.9	7.2	▲8.2	▲41.3	▲41.5	個人タクシー
全業種計	▲17.3	▲14.3	▲12.8	▲10.3	▲4.8	▲7.0	▲0.9	▲7.6	4.0	▲14.7	▲10.2	▲17.0	▲13.7	▲18.3	▲10.3	▲10.7	▲18.8	▲13.5	全業種計

（注）1 網掛けは、前月から低下した数値。

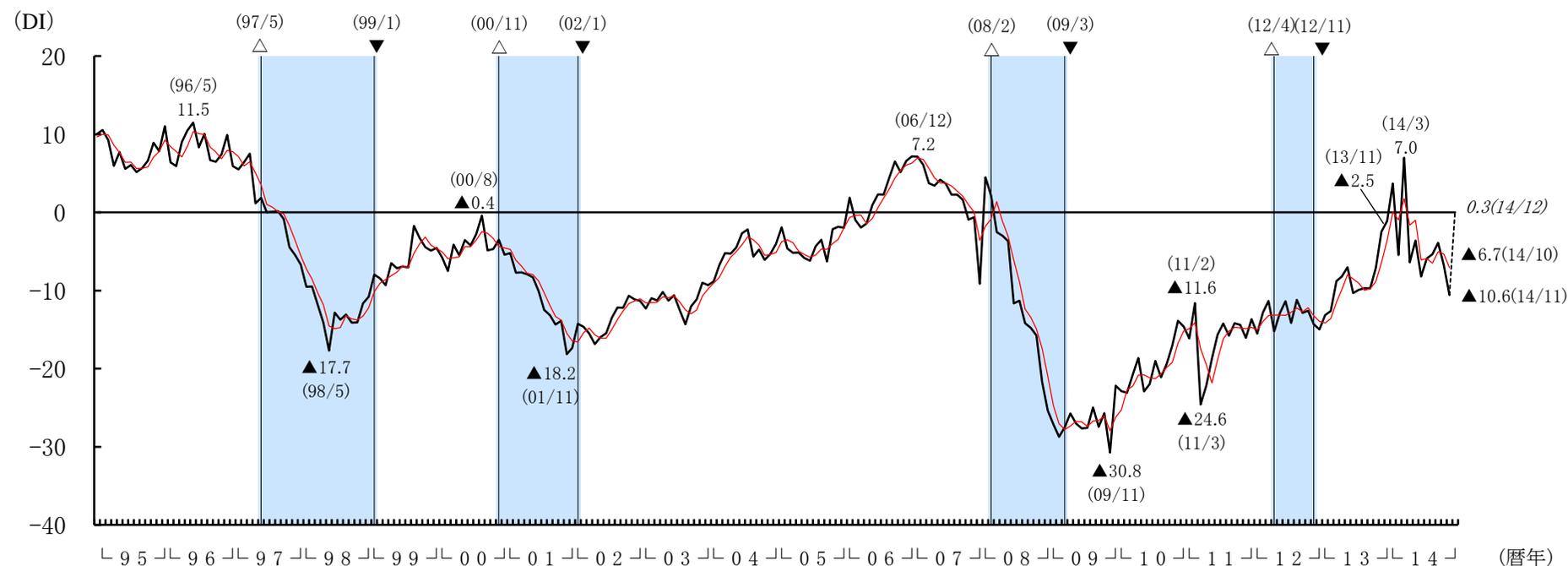
2 季節調整は業種ごとに行っている。

2 採算

- 11月の採算DIは、10月からマイナス幅が3.9ポイント拡大し、▲10.6となった。
- 12月の採算DIは、0.3とプラスに転じる見通しとなっている。

図－3 採算DIの推移（全業種計、季節調整値）

	2013/11月	12月	2014/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実績	▲2.5	▲1.1	3.7	▲5.5	7.0	▲6.4	▲3.6	▲8.2	▲5.9	▲5.4	▲3.9	▲6.7	▲10.6	-
見通し	0.9	1.6	1.3	6.8	1.1	▲13.2	▲3.5	0.0	▲6.3	▲3.3	1.0	1.0	0.6	0.3



(注) DIは「黒字」企業割合－「赤字」企業割合。

3 業況判断(2014年実績・見込み、2015年見通し)

- 2014年の業況判断DI(実績・見込み)は、▲18.6となった。2015年は、2014年からマイナス幅が5.2ポイント縮小し、▲13.4となる見通しである。
- 業種別にみると、2015年は、製造業と卸売業を除く全ての業種で業況判断DIが上昇する見通しとなっている。

図-4 業況判断

<全業種計>



(参考) 中小企業の業況判断



- (注) 1 DIは前年比で「改善」企業割合-「悪化」企業割合。
 2 回答割合は四捨五入して表記しているため、合計が100にならない場合がある。
 3 中小企業の業況判断は、「2015年の中小企業の景況見通し」結果より抜粋(原則従業員20人以上)。
 4 中小企業については、地域は三大都市圏、業種は製造業、卸売業、建設業、運輸業を対象としている。

<業種別内訳>

